



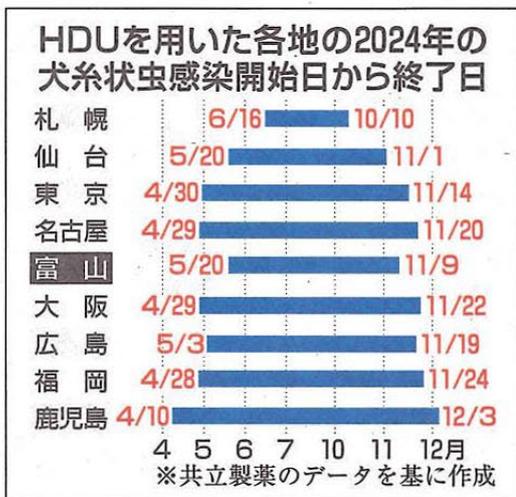
いせ動物病院院長
(射水市戸破)

伊勢 哲生

フィラリア症は、フィラリア(犬糸状虫)が心臓に寄生することによって起こる病気です。

フィラリアに感染した動物の血を吸った蚊が、フィラリアの幼虫(マイクロフィラリア)を取り込み、他の動物を吸血する際にマイクロフィラリアを伝搬します。その後、マイクロフィラリアは心臓の肺動脈に移動して成虫となります。多くの成虫の寄生によって血流に障害が生じ、血管内の溶血によって重度の貧血を起こします。また未熟な幼虫の寄生によって、肺にも変化がみられ発咳を引き起こします。

フィラリア症



温暖化で予防期間長く

重度の感染は犬の命を脅かす病気です。

フィラリア予防の薬は、飲むタイプ、背中や皮膚に垂らす液体タイプ、長期予防できる注射タイプとさまざまな種類があります。ノミダニ予防も兼ね備えたタイプも

あります。フィラリアが感染幼虫に発育するのに必要な積算温度の単位のこと。正式には「Heatworm Development Unit」と言います。

出てきています。しっかり予防できるといっていいと思います。

「HDU」は、蚊の体内で、マイクロフィラリアが感染幼虫に発育するのに必要な積算温度の単位のこと。正式には「Heatworm Development Unit」と言います。

「1日HDU」は「日平均気温」から「臨界温度(14度)」を引くことで求めることができ、この数字を足していけば、130を超えた日をフィラリア予防の開始時期として

地球温暖化の影響で暖冬になってきています。10年前と比べて月の平均気温も上がっており、それに伴いフィラリア感染予防の期間も伸びていきます。2024年の場合、富山県での感染終了日は11月9日となっており、1カ月後の12月9日を過ぎると最後の予防が重要になってきます。忘れずに予防してもらえればと思います。

毎月第1土曜掲載